

日野市男女平等についての市民意識アンケート

調査結果報告 《概要版》

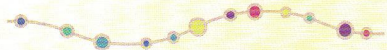
～男女平等と日野市民の生活～



平成 27 年 (2015 年) 3 月

日野市企画部男女平等課

実践女子大学



ごあいさつ



日野市企画部男女平等課は、平成26年11月に、実践女子大学と連携して「日野市男女平等についての市民意識アンケート」を行いました。ご協力くださいました市民の皆様に、心から御礼を申し上げます。誠にありがとうございました。

この調査結果は、日野市の男女平等施策に反映させるとともに、「第三次日野市男女平等行動計画」（平成28～32年度）策定の基礎資料として活用させていただきます。



結果の概要

男女平等に関する意識

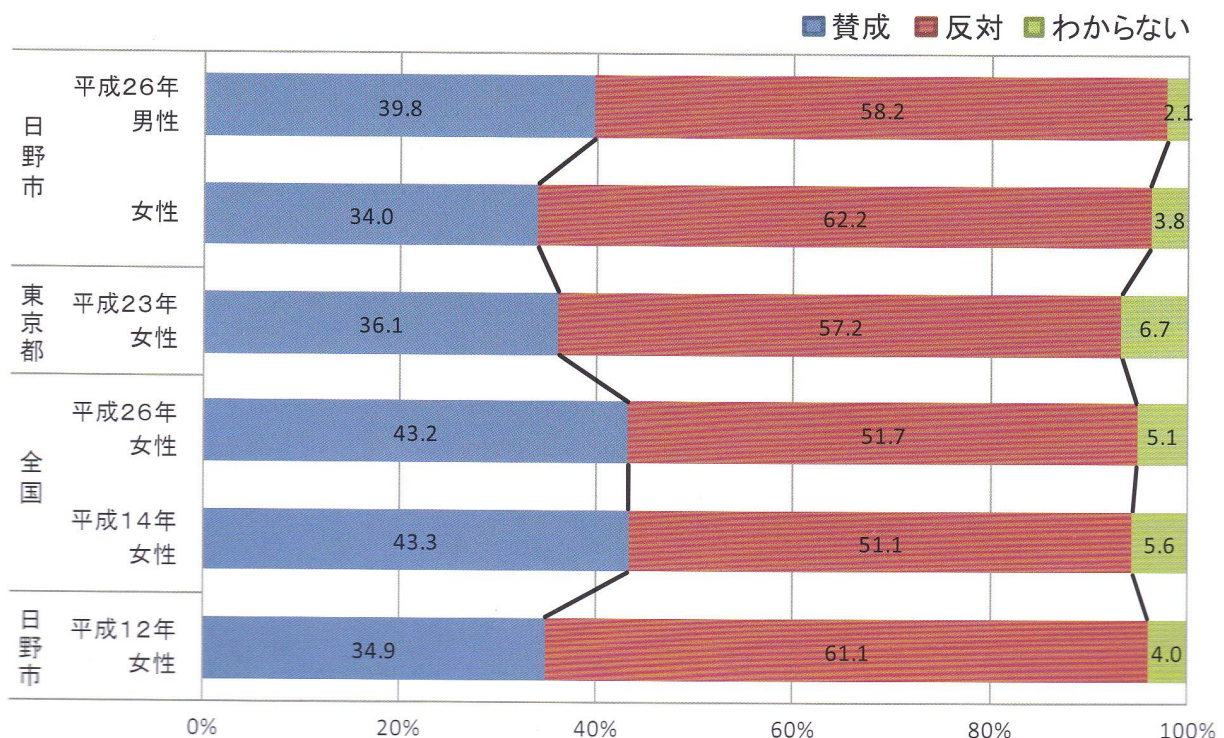
～前回調査・全国調査との比較～

男女平等に関する日野市民の考え方について、前回調査（平成12年に女性のみを対象に実施）・東京都調査（生活文化局）・全国調査（内閣府）の結果と、今回の調査結果を比べました（図1）。

今回の調査と東京都調査および全国調査の結果を比較すると、「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」について、日野市の女性は賛成する割合が低いという結果でした。同じような結果が、前回調査についてもみられていました。

日野市民は、東京都や全国での調査の結果と比べて「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」に賛成する割合が低かったことから、都全体や全国での様子に比べると、男女平等に関する意識は高めであるようです。

【図1】「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」に対する回答の割合（%）



ワーク・ライフ・バランス

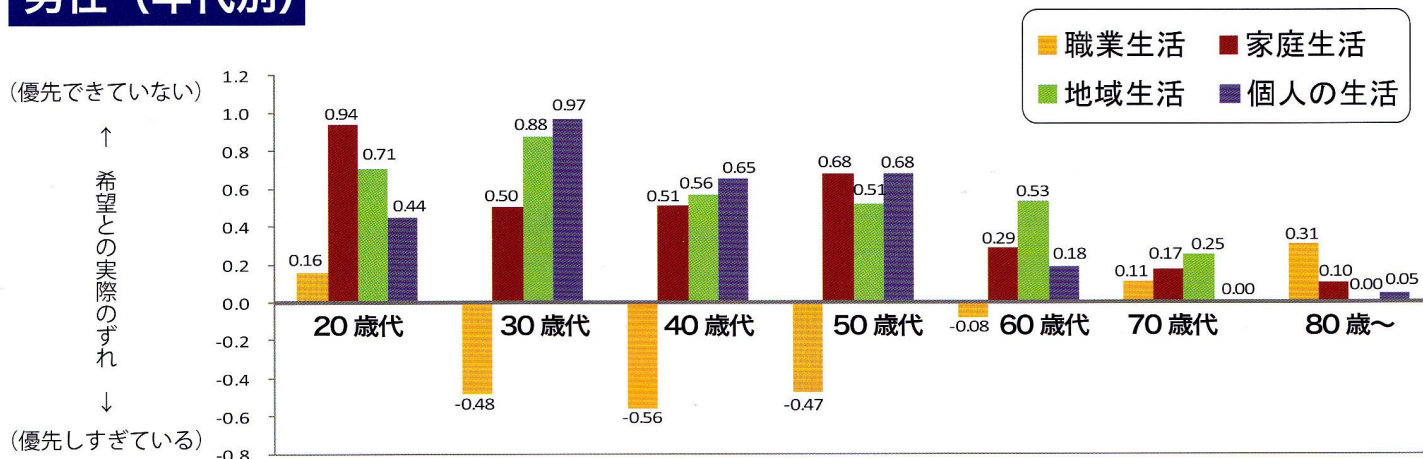
～性別や年代で、実現の内容や程度が異なる～

日野市民の「ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）」は、どのくらい実現しているのでしょうか。自分自身の生活（職業・家庭・地域・個人）について、希望（「どのくらい優先させたいか」と）と実際（「実際には、どのくらい優先させているか」と）の「ずれ」（※）を、それぞれの性別ごとに、年代別で調べました（図2）。すると、性別や年代で、実現の内容や程度が異なっていました。

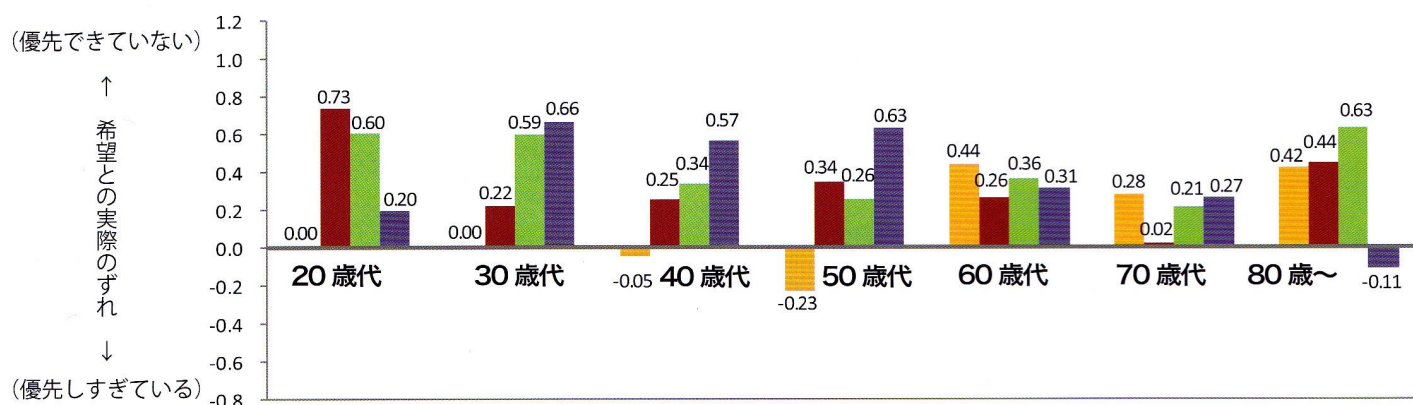
また、子どものいる30～40歳代の既婚者については、男女ともに、「自分の時間が持ちにくい」と感じている人ほど、生活全般や家族に対する満足度が低くなるという結果もみられていたことから、個々人の時間が大切であることがわかりました。

【図2】自身の生活（職業・家庭・地域・個人）についての希望と実際のずれ

男性（年代別）



女性（年代別）



※ 質問では、それぞれの生活（職業・家庭・地域・個人）について、「希望」（どのくらい優先させたいか）と「実際」（どのくらい優先させているか）を回答してもらいました。数値は、「希望」についての回答から「実際」の様子についての回答を引き算し、それぞれの生活の優先度について、「希望」と「実際」の「ずれ」を得点化したものです。数値が0に近づくほど、「希望」と「実際」の「ずれ」が少ない（＝バランスがとれている）ということになります。

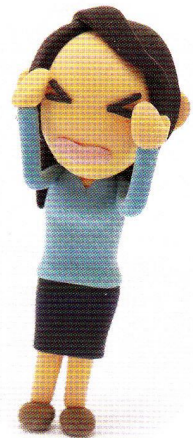
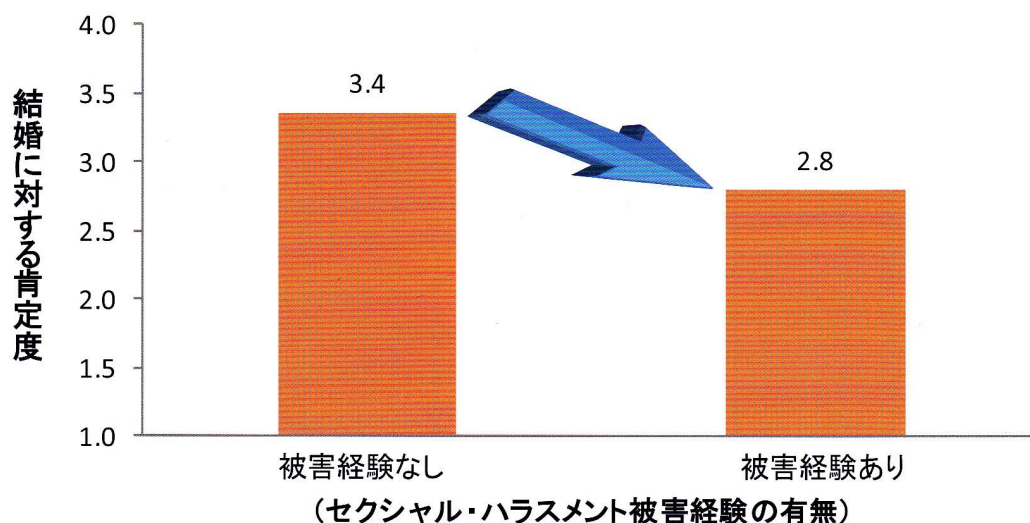
ハラスメント

～被害経験の有無で結婚・子どもを持つことへの肯定度が異なる～

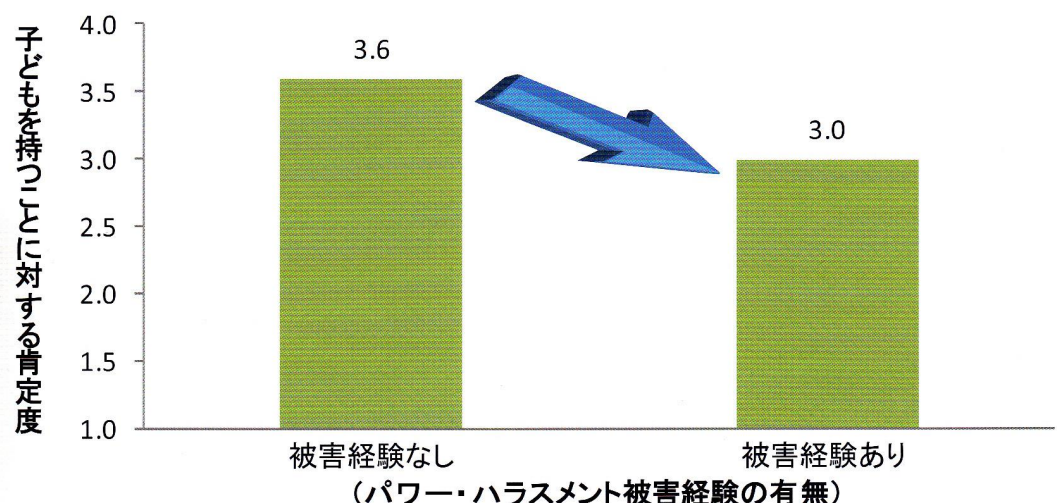
今回の調査で、女性のおよそ19人に1人が、セクシャル・ハラスメントの被害に遭った経験があるという結果がみられました。また、パワー・ハラスメントについては、男性の19人に1人・女性の13人に1人が被害に遭った経験がありました。

セクシャル・ハラスメントの被害経験のある女性は、被害経験のない女性に比べて、「結婚はした方がよい」という考え方に対する肯定度が低いという結果がみられました（図3）。また、パワー・ハラスメントの被害経験がある男性は、被害経験のない男性に比べて、「子どもは持った方がよい」という考え方に対する肯定度が低いという結果がみられました（図4）。パワー・ハラスメント被害経験がある男性については、先行きの明るさを感じにくいという結果もみられたことから、将来の見通しを持ちにくい状態にあるために、子どもを持つことを肯定的に捉えにくい状態にある、という可能性も考えられます。

【図3】 セクシャル・ハラスメント被害経験と結婚に対する肯定度（女性）



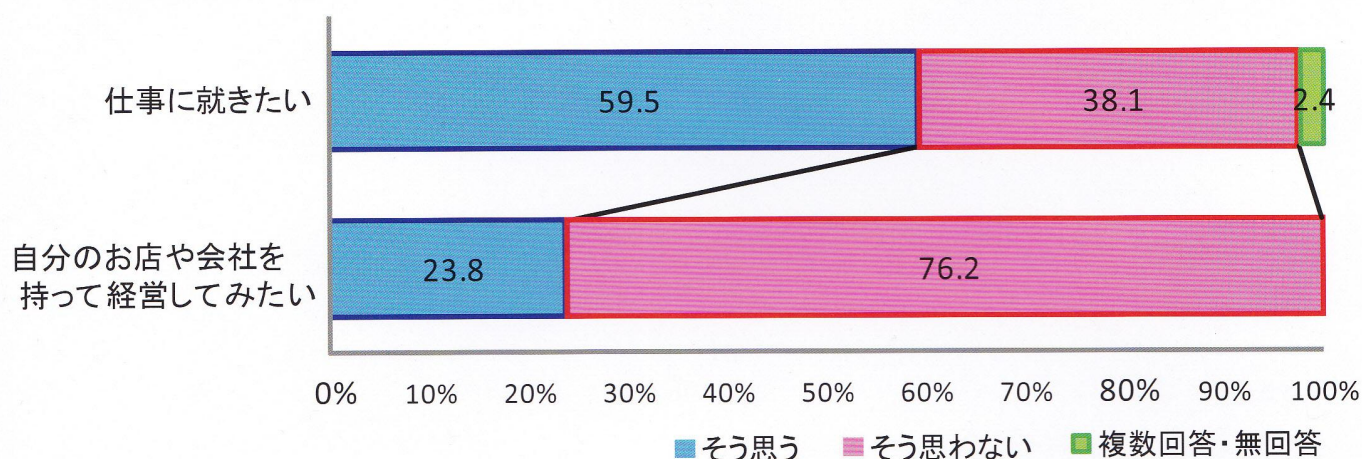
【図4】 パワー・ハラスメント被害経験と子どもを持つことに対する肯定度（男性）



就業・創業への意欲

～仕事に就いておらず子どもがいる 30～40 歳代の女性～

30～40歳代で子どものいる専業主婦・無職の女性は、半数以上が仕事に就きたいと考えており、5人に1人くらいの方が、「自分のお店や会社を持って経営してみたい」と創業への意欲をもっていました（図5）。また、子どものいる30～40歳代の既婚者は、男女ともに、「自分の時間が持ちにくい」と感じている人ほど、生活全般や家族に対する満足度が低くなるという結果もみられていました。

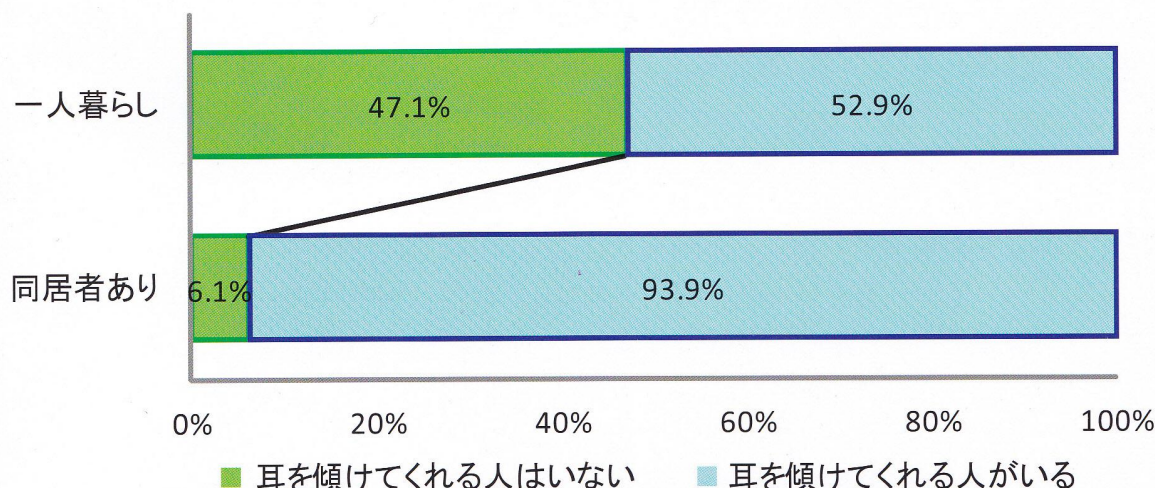


【図5】 就業・創業への意欲（30～40歳代 子どもがいる専業主婦・無職の女性）

一人暮らし

～50～60歳代の男性は人とのつながりをもちにくい状況にある～

「心配事や悩み事があったときに、耳を傾けてくれる人はいない」と回答した人は、全体の4.2%でした。また、50～60歳代の一人暮らしの男性については、半数近くが「耳を傾けてくれる人はいない」と回答しており、人とのつながりをもちにくい状況にあることがわかりました。



【図6】 一人暮らしと人とのつながり（50～60歳代 男性）

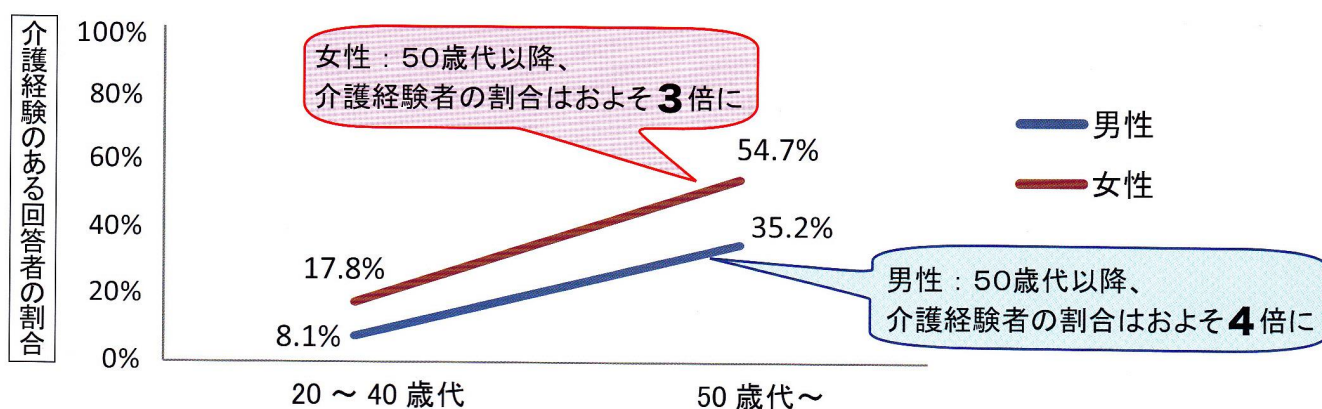


超高齢社会の進展と介護

～ 50 歳代から、介護はより、身近なできごと～

日野市の高齢者の割合は、前回調査を実施した平成 12 年では 7 人に 1 人くらいでしたが、平成 26 年には 4 人に 1 人くらいへと高まっています。

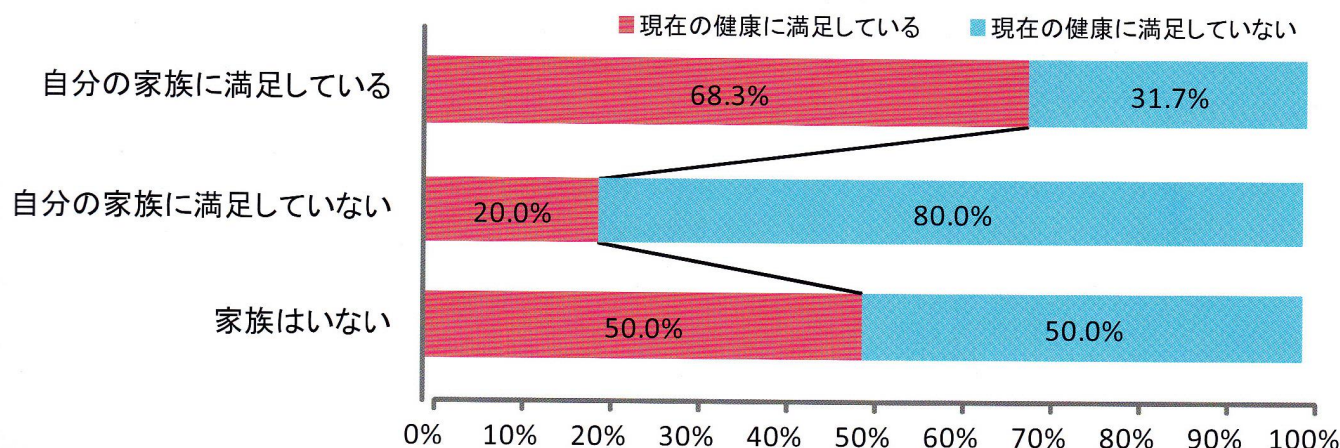
今回の調査で、女性は、どの年代でも介護経験の割合が男性よりも高いという結果がみられました。また、男女とも、50 歳代以降、「介護経験あり」と回答する割合が高まっていました。男性では、20～40 歳代までは、介護経験があるのは 12 人に 1 人くらいですが、50 歳代以上では 3 人に 1 人くらいとなります（図 7）。また、女性についても、50 歳代を境として介護を経験する割合が高まっていました。男女とも 50 歳代の時期を境目に、介護は、より身近なできごとになってくるといえそうです。



【図 7】 介護経験のある回答者の割合の比較（50 歳代前後）

家族に対する満足度が高いと健康満足度も高い ～ 70～80 歳代の女性～

自分の家族に満足している場合、70～80 歳代の女性のおよそ 3 人に 2 人が、現在の健康に満足していました。一方、家族に満足していない場合は、8 割が健康に満足していませんでした。家族がいない場合については、健康に満足しているのは回答者の半分の方でした。したがって、家族との関係は、健康に暮らすうえで重要だと思われます。



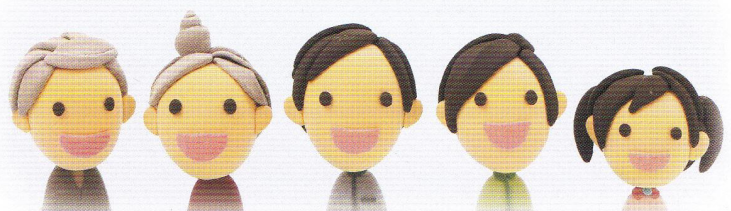
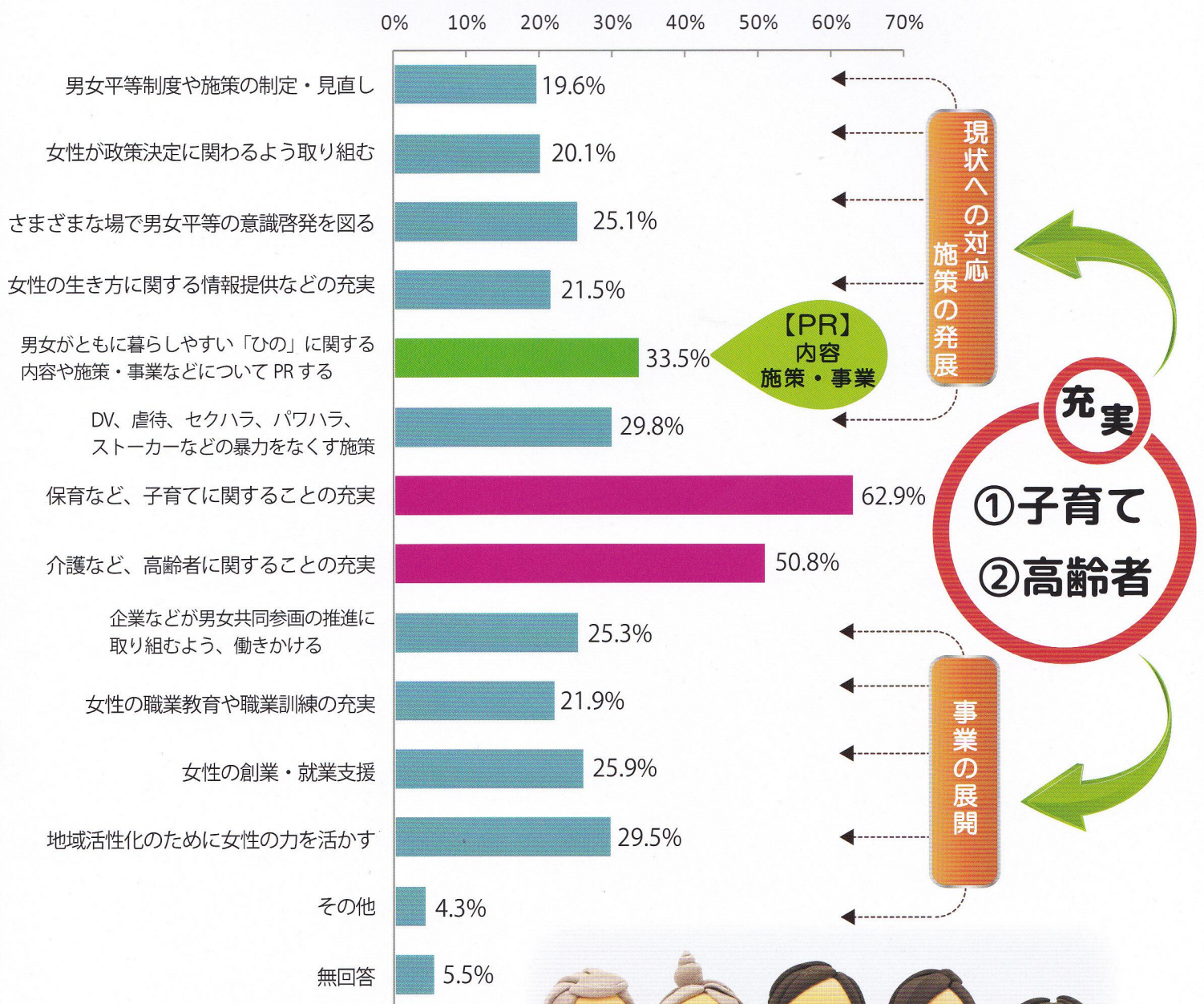
【図 8】 家族に対する満足度と健康満足度（70～80 歳代 女性）

子どもから高齢者まで、日野市民の生涯をふまえた施策の充実・PRが必要

男女がともに暮らしやすい日野市にするため力を入れる必要があることとして、もっとも多く挙げられていたのは「保育など、子育てに関することの充実」であり、次いで「介護など、高齢者に関することの充実」が挙げられていました（図9）。さらに、「男女がともに暮らしやすい「ひの」に関する内容や施策・事業などについてのPR」が続いて挙げられていました。

今後は、子育てや介護など、子どもから高齢者まで、日野市民の生涯をふまえた施策の充実・PRを行ったうえで、DV・虐待・ハラスメント・ストーカーなどの現状に迅速に対応しつつ、男女平等についての施策を発展させ、事業を展開していくことが求められているのかもしれない。

【図9】「男女がともに暮らしやすい日野市にするため力を入れる必要があること」に対する回答の割合（％）





調査の概要

■ 調査対象

2014年1月1日時点で20～89歳の日野市民男女1,500名
(うち 20～49歳については、300名をオーバーサンプリング)
地域×性別×年齢構成を層とする層別抽出法(比例配分)

■ 調査時期

2014年11月

■ 有効回収率

43.8%(有効回収数657)



調査実施体制

日野市企画部男女平等課
実践女子大学

【調査設計・分析・執筆等】

水野(島谷) いずみ(実践女子大学生活科学部生活文化学科 准教授)

【分析・執筆】

菅原 育子(東京大学社会科学研究所 助教)

【執筆】

相田 直樹(東京大学大学院社会心理学研究室 修士課程)

竹内 真純(帝京大学女性医師・研究者支援センター 研究員)

平成27年(2015年)3月発行

「日野市男女平等についての市民意識アンケート」調査結果報告
～男女平等と日野市民の生活～ 【概要版】

編集・発行 / 日野市企画部男女平等課
実践女子大学

入力・集計等/株式会社情報基盤開発

印刷・発送等/社会福祉法人 東京光の家 光の家栄光園

日野市立男女平等推進センター・日野市企画部男女平等課

〒191-0062 日野市多摩平 2-9 多摩平の森ふれあい館

TEL:042-584-2733 / FAX:042-584-2748

E-mail: danjyo@city.hino.lg.jp

